

インドネシアにおけるRORO船を活用した海上物流システム近代化に係る実証事業



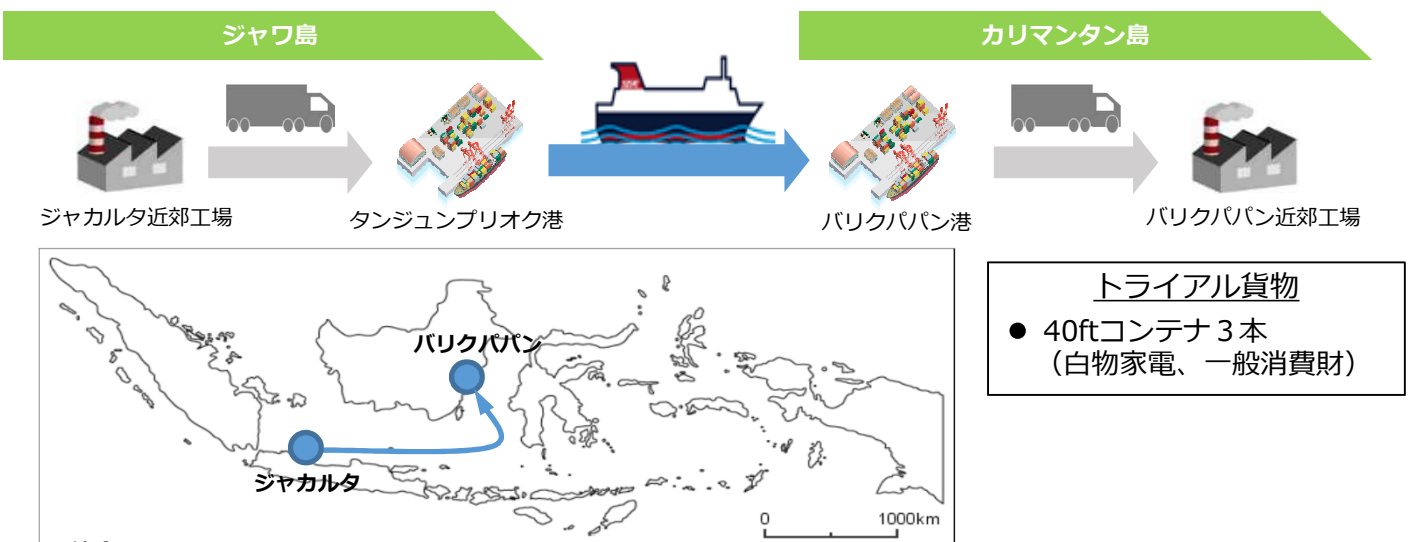
取組の概要

世界最大の島嶼国であるインドネシアにおいて、ジャワ島とその他の島嶼地域を結ぶ効率的な海上物流網の構築のため、効率的で迅速な輸送が可能なRORO船を活用した海陸一貫輸送の実証事業を実施。

【事業実施の背景】

- ✓ インドネシアは、1万7千を超える島々からなる世界最大の島嶼国であるが、島嶼間の物流インフラが不十分であることから、ジャワ島とその他の島との地域経済格差は拡大傾向にあり、この是正のためにも、効率的で経済的な海上物流ネットワーク構築は不可欠。
- ✓ インドネシア進出企業にとっても、今後、新政権によりジャワ島以外の島にも多数の工業団地を建設するという構想もあることから、現地進出企業の円滑な事業実施には、効率的な海上物流システムの提供が求められる。

インドネシアにおけるRORO船を活用した海上物流システム近代化に係る実証事業のイメージ



インドネシア国内海上物流の現状



港湾付近の渋滞

非効率な物流

- ① コンテナ荷役の慢性的な混雑
- ② 入港待ちの船舶、港湾付近の車両の滞留が慢性化
- ③ 交通渋滞、大気汚染の慢性化



RORO船による国内海上物流の効率化

物流の近代化

- ① RORO船専用ターミナル利用による荷役効率の向上
- ② 船舶、車両の効率向上による物流コスト、人件費の削減
- ③ 交通渋滞、大気汚染の解消



ランプウェイを使った荷役



シャーシをそのまま積込、輸送

トライアル輸送

- インドネシア内航海運の実態把握、及び市場・需要調査
- オペレーション上の課題の検証
- カボタージュ規制等、法制度・商慣習等の制度上の課題



日系物流事業者によるRORO船を活用した海陸一貫輸送システムの普及・促進